

## (2) 社会

### ア 個々の問題の概要及びその通過率

—評価の観点—	
思・判・表	：社会的な思考・判断・表現
技 能	：資料活用の技能
知・理	：社会的事象についての知識・理解

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい	評価の観点	設定通過率(%)	通過率(%)			
3・4学年	(3)ア	1	(1)	水をきれいにする施設は浄水場であることを理解している。	知・理	70.0	81.4	
			あきこ	資料を正しく読み取り、必要な資料を選択することができる。(人口と水の使用量)	思・判・表	70.0	84.8	
		ひろし	資料を正しく読み取り、必要な資料を選択することができる。(節水)	思・判・表	70.0	86.2		
		(3)	水資源を大切に使う生活の仕方について考えることができる。	思・判・表	60.0	85.9		
	(4)アイ	2	(1)	資料から110番通報は通信指令室につながることを読み取ることができる。	技 能	70.0	88.0	
			(2)	16時から18時に起きる事故が多い理由について考えることができる。	思・判・表	60.0	77.2	
			(3)	交通事故を防ぐためにある施設を選択することができる。	思・判・表	60.0	75.2	
	(5)ウ	3	1	①	資料から昔は機械がなかったために堰づくりは大変な作業であったことを読み取ることができる。	技 能	70.0	65.7
				②	資料から西根上堰が完成するまでの年数を読み取ることができる。	技 能	60.0	55.7
			(2)	堰ができる前とできた後の土地利用の仕方の変化について考えることができる。	思・判・表	60.0	72.4	
	(1)ア	4	1	(1)	およその位置を、八方位で表すことができる。	技 能	60.0	74.6
				①	学校を基準に神社の方角を示すことができる。	技 能	70.0	76.3
			2	②	果樹園を示す地図記号を理解している。	知・理	70.0	82.7
				③	広葉樹林を示す地図記号を理解している。	知・理	70.0	73.9
	(3)	縮尺を使って実際の距離を導き出すことができる。	技 能	70.0	75.9			
	(1)ア	5	1	(1)	等高線の意味を理解している。	知・理	60.0	47.5
				(2)	谷の意味を理解している。	知・理	70.0	20.2
	(6)ア	6	1	(1)	資料から東北新幹線の県内停車駅を指摘することができる。	技 能	70.0	55.9
				(2)	青函トンネルを理解している。	知・理	60.0	43.6
		7	1	(1)	青森県中央の湾の名前(陸奥湾)を理解している。	知・理	60.0	69.2
(2)				条件に該当する地点を選択することができる。	思・判・表	60.0	29.1	
(5)ア	8	1	(1)	おばあさんが子どもの頃使っていた道具(たらいや洗濯板)の名称を理解している。	知・理	70.0	33.9	
			①	年表から生活の様子の移り変わりを考えることができる。	思・判・表	60.0	70.2	
		②	年表から生活の様子が変化した年代を指摘できる。	思・判・表	60.0	75.2		
5学年	(2)ア	9	1	①	米づくりの仕事の内容(苗づくり等)を理解している。	知・理	70.0	51.1
				②	米づくりの仕事の内容(かりとり等)を理解している。	知・理	70.0	43.7
		2	ア	グラフから、酒田市の降水の特色を読み取ることができる。	技 能	70.0	81.1	
			イ	グラフから、酒田市の日照時間の特色を読み取ることができる。	技 能	70.0	55.6	
		(3)	「品種改良」の目的を理解している。	知・理	50.0	59.4		
	(1)ア	10	1	①	地球儀上の経線を理解している。	知・理	60.0	57.9
				②	経線と緯線の働きを理解している。	知・理	60.0	49.6
			(2)	日本の地球上の位置や周りの海洋について理解している。	知・理	60.0	77.7	
3	A	世界の主な大陸(ユーラシア大陸)の名称を理解している。	知・理	70.0	87.2			
	B	世界の主な国(中華人民共和国)の名称を理解している。	知・理	70.0	67.1			
C	世界の主な国(ブラジル)の名称を理解している。	知・理	70.0	57.4				

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問題の内容		設定 通過率	東青管内			西北管内			
				青森市	東郡		五所川原市	つがる市	西・北郡	
1	(1)	浄水場の名称と役割	70.0	85.4	85.7	81.4	79.9	87.8	72.4	74.8
	(2)	あきこ 人口と水の使用量に関する資料の選択	70.0	85.8	85.8	84.9	84.7	85.6	83.8	84.2
		ひろし 節水に関する資料の選択	70.0	87.2	87.3	86.0	85.5	87.7	83.2	84.2
	(3)	節水の具体的な方法の指摘	60.0	85.7	86.0	80.8	88.2	88.9	89.2	86.6
2	(1)	通報が通信司令室につながる事	70.0	83.9	83.8	86.0	90.0	92.0	88.9	88.3
	(2)	事故が多い理由の指摘	60.0	75.4	74.8	84.9	73.2	75.7	75.1	69.1
	(3)	交通事故を防ぐための施設の選択	60.0	71.5	71.2	75.0	72.8	72.4	75.1	71.9
3	(1)	① 堰づくりの苦勞の読み取り	70.0	67.9	68.5	57.6	63.4	63.9	67.3	60.3
		② 堰完成までの年数の読み取り	60.0	55.4	55.7	50.6	55.4	52.6	62.0	54.8
	(2)	堰完成後の土地利用の変化の指摘	60.0	72.6	72.5	74.4	70.1	68.2	79.5	66.5
4	(1)	八方位を用いた位置の読み取り	60.0	69.9	69.7	73.8	75.0	75.7	77.8	72.3
	(2)	① 学校を基準にした方角の読み取り	70.0	74.4	74.4	73.8	79.1	79.0	79.8	78.9
		② 地図記号（果樹園）の理解	70.0	81.4	81.1	86.0	83.2	85.4	82.2	81.0
		③ 地図記号（広葉樹林）の理解	70.0	71.9	71.8	73.8	75.0	76.9	75.4	72.5
(3)	縮尺を使った距離の算出	70.0	74.8	75.2	69.2	73.8	75.2	77.1	69.9	
5	(1)	等高線の意味の理解	60.0	44.5	44.9	37.2	34.5	31.8	40.1	34.3
	(2)	谷の意味の理解	70.0	21.4	21.8	15.1	21.2	23.3	17.8	20.7
6	(1)	東北新幹線の県内停車駅の理解	70.0	55.0	54.9	56.4	54.5	56.8	53.9	52.2
	(2)	青函トンネルの理解	60.0	46.5	46.2	51.2	41.9	41.7	41.4	42.4
7	(1)	湾（陸奥湾）の理解	60.0	70.6	69.8	83.7	71.8	71.7	80.8	66.1
	(2)	条件に該当する地点の選択	60.0	24.5	24.1	32.0	28.8	28.1	30.3	28.6
8	(1)	道具（たらいや洗濯板）の名称の理解	70.0	32.7	33.1	25.6	32.6	39.9	25.9	27.9
	(2)	① 生活の様子の移り変わりの指摘	60.0	69.6	69.7	68.0	67.2	68.6	68.0	65.0
		② 生活の様子が変化した年代の指摘	60.0	76.0	76.1	74.4	74.3	75.7	74.7	72.3
9	(1)	① 米づくりの仕事の内容（苗づくり等）の理解	70.0	49.6	49.6	49.4	53.3	49.7	57.9	55.4
		② 米づくりの仕事の内容（かりとり等）の理解	70.0	40.7	41.1	34.9	44.2	43.6	49.0	42.0
	(2)	ア 酒田市の降水量の特色の読み取り	70.0	80.7	80.8	79.7	81.0	80.2	80.8	82.2
		イ 酒田市の日照時間の特色の読み取り	70.0	55.0	54.6	61.0	50.8	52.4	51.2	48.4
	(3)	「品種改良」の目的の理解	50.0	59.3	59.2	61.0	59.5	57.8	62.2	60.0
10	(1)	① 地球儀上の経線の理解	60.0	54.3	53.9	60.5	61.0	59.9	61.6	61.8
		② 経線と緯線の働きの理解	60.0	46.0	46.0	47.1	53.2	51.6	58.9	51.6
	(2)	日本の地球上の位置の理解	60.0	77.8	77.9	75.0	75.5	80.9	70.0	72.3
	(3)	A 世界の主な大陸の名称（ユーラシア大陸）の理解	70.0	86.0	86.1	83.7	87.5	85.9	89.6	88.1
		B 世界の主な国の名称（中国）の理解	70.0	66.3	66.5	62.2	65.6	65.3	68.0	64.4
C 世界の主な国の名称（ブラジル）の理解		70.0	56.1	55.8	60.5	57.5	60.4	59.9	52.5	
教科全体			65.1	64.5	64.5	64.5	64.8	65.5	66.1	63.1

(単位：%)

中 南 管 内					上 北 管 内				下 北 管 内			三 八 管 内			県全体
弘前市	黒石市	平川市	中・南郡		十和田市	三沢市	上北郡		むつ市	下北郡		八戸市	三戸郡		
78.4	78.9	74.8	85.3	73.4	80.8	82.7	73.8	82.9	65.1	62.9	73.8	85.1	86.3	80.0	81.4
84.2	85.0	83.6	82.8	82.4	85.3	86.5	87.1	83.5	82.9	83.8	79.4	84.6	85.9	79.5	84.8
86.2	87.2	83.6	85.3	85.6	86.2	87.5	87.4	84.9	84.1	85.6	78.0	86.2	87.3	81.8	86.2
86.3	84.8	91.8	88.4	85.3	87.0	87.8	91.3	84.4	83.4	81.8	89.4	84.5	85.4	80.9	85.9
88.0	88.6	87.0	89.8	84.5	88.0	89.5	87.4	87.4	88.4	88.1	89.4	91.3	91.9	89.1	88.0
78.9	79.8	75.4	80.0	77.7	74.6	76.3	73.8	73.8	70.3	70.3	70.2	83.1	83.2	83.0	77.2
74.2	73.8	72.2	77.9	74.8	77.7	79.3	80.3	75.5	76.5	74.8	83.0	78.8	78.6	79.5	75.2
59.4	59.4	57.8	64.6	56.1	68.4	68.9	69.1	67.8	62.8	64.4	56.7	68.8	69.3	66.8	65.7
54.9	55.3	60.6	57.9	42.4	58.1	62.6	62.8	52.9	57.2	59.2	49.6	54.7	58.1	41.3	55.7
71.6	72.6	71.4	68.8	69.8	70.5	74.6	63.9	70.9	71.3	73.2	63.8	75.6	75.4	76.6	72.4
72.6	73.5	72.8	75.8	64.4	78.0	79.3	77.5	77.3	75.5	75.7	74.5	78.5	81.1	68.2	74.6
75.7	75.1	79.6	80.4	69.1	77.4	80.1	76.1	76.2	76.2	75.7	78.0	76.8	77.1	75.5	76.3
81.0	81.2	84.7	79.6	76.3	85.0	87.5	84.8	83.4	81.6	82.6	78.0	83.9	84.7	80.7	82.7
69.9	69.9	76.8	68.1	62.9	77.3	79.6	74.0	77.3	72.7	74.3	66.7	76.9	77.6	74.1	73.9
77.0	76.7	76.2	81.8	74.1	75.5	75.7	77.8	74.3	74.6	73.4	79.4	77.6	79.2	71.4	75.9
44.1	41.1	39.9	65.6	43.2	54.6	61.9	59.3	47.5	58.1	56.1	66.0	51.9	52.3	50.5	47.5
19.9	17.1	9.1	32.6	35.6	16.9	10.5	26.1	17.7	18.7	19.8	14.2	21.4	20.9	23.4	20.2
51.1	51.9	55.0	47.0	46.8	60.7	67.4	53.6	59.4	49.9	50.5	47.5	59.5	62.1	49.5	55.9
35.8	36.1	36.0	44.9	24.5	48.5	48.6	46.4	49.4	37.4	38.1	34.8	46.0	49.2	33.9	43.6
63.9	64.0	55.0	74.7	63.3	73.2	72.9	76.6	71.9	89.0	88.3	91.5	63.5	66.4	51.9	69.2
27.5	29.5	20.7	26.7	26.3	34.8	33.7	39.6	33.4	28.4	28.4	28.4	31.3	32.3	27.8	29.1
35.6	36.0	35.4	41.8	27.3	32.6	42.0	35.1	25.1	25.8	26.6	22.7	37.2	39.5	28.3	33.9
69.6	70.1	71.4	68.8	65.8	73.6	72.6	75.4	73.3	67.9	67.3	70.2	71.1	72.8	64.6	70.2
74.2	76.0	68.6	75.8	70.5	76.8	76.2	78.7	76.4	75.9	76.6	73.0	74.3	76.1	67.5	75.2
46.8	45.3	41.1	68.6	42.1	58.2	66.8	46.8	56.6	33.8	36.9	23.0	54.7	55.5	51.7	51.1
39.0	37.3	38.2	46.7	41.3	46.9	49.4	31.0	52.1	41.3	42.6	36.7	48.8	49.0	48.3	43.7
79.8	79.4	78.8	85.0	78.1	81.9	83.6	79.7	81.6	80.9	79.1	87.1	82.3	83.0	79.4	81.1
55.7	56.3	52.4	62.5	51.1	56.3	57.5	51.3	57.6	56.8	55.3	61.9	57.7	58.6	54.0	55.6
57.8	56.8	64.3	59.4	52.9	61.3	64.3	57.5	60.6	58.5	56.1	66.9	59.8	61.0	54.8	59.4
55.3	56.1	54.1	55.4	52.9	60.6	68.4	52.5	59.2	60.5	61.5	56.7	59.5	62.8	46.9	57.9
48.8	48.6	50.7	51.6	44.2	50.4	55.8	46.4	48.6	55.8	55.0	58.9	50.3	51.8	44.4	49.6
76.0	76.8	68.8	84.9	71.9	80.1	83.3	79.2	78.4	78.5	79.1	75.9	78.2	80.6	69.1	77.7
84.2	83.5	86.1	87.4	82.4	90.9	91.9	88.3	91.4	90.4	89.7	92.9	87.3	89.4	79.0	87.2
61.5	61.0	63.5	69.5	54.0	71.7	77.5	69.3	68.9	71.0	71.6	68.8	69.3	70.1	66.0	67.1
55.6	55.9	55.5	59.6	50.4	59.7	69.9	57.6	53.9	51.9	54.0	44.0	59.8	62.6	49.0	57.4
63.6	63.6	62.6	68.0	60.2	67.6	70.1	66.7	66.2	64.5	64.7	63.8	67.2	68.6	62.0	65.5

## ウ 内容・領域別結果の概要

内 容	問題数 (問)	通過率の高かった 問題(10問)	通過率の低かった 問題(10問)	各内容の 通過率(%)	設定通過率 (%)
人々の生活	10	1(1)、1(2)ひろし、 1(2)あきこ、1(3)	3(1)②、8(1)	71.2	65.0
人々の安全	3	2(1)、2(2)		80.1	63.3
地域の様子・ 青森県の特徴	11	4(2)②	5(1)、5(2)、 6(2)、7(2)	59.0	65.5
食料生産	5	9(2)ア	9(1)①、9(1)②、 9(2)イ	58.2	66.0
国土の環境	6	10(2)、10(3)A	10(1)②	66.1	65.0

内容・領域別にみると、県の平均通過率と比較して、これを上回ったのは「人々の生活」・「人々の安全」である。同程度だったのは「国土の環境」であり、下回ったのは「地域の様子・青森県の特徴」・「食料生産」である。

設定通過率と比較すると、これを上回ったのは「人々の生活」・「人々の安全」である。同程度だったのは「国土の環境」であり、下回ったのは「地域の様子・青森県の特徴」・「食料生産」である。

## エ 評価の観点別結果の概要

評価の観点	問題数 (問)	通過率の高かった 問題(10問)	通過率の低かった 問題(10問)	各観点の 通過率(%)	設定通過率 (%)
社会的な 思考・判断・ 表現	9	1(2)ひろし、 1(2)あきこ、1(3)、 2(2)	7(2)	72.9	62.2
観察・資料活 用の技能	9	2(1)、9(2)ア	3(1)②、9(2)イ	69.9	67.8
社会的事象 についての 知識・理解	17	1(1)、4(2)②、 10(2)、10(3)A	5(1)、5(2)、 6(2)、8(1)、 9(1)①、9(1)②、 10(1)②	59.1	65.3

観点別にみると、県の平均通過率と比較して、これを上回ったのは「社会的な思考・判断・表現」である。同程度だったのは「観察・資料活用の技能」であり、下回ったのは「社会的事象についての知識・理解」である。

設定通過率と比較すると、これを上回ったのは「社会的な思考・判断・表現」である。同程度だったのは「観察・資料活用の技能」であり、下回ったのは「社会的事象についての知識・理解」である。

## オ 個々の問題の主な誤答例とその原因

問題番号	通過率(%)	設定通過率(%)	主な誤答(無答を含む)例 (カッコ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%)	
5	(2)	20.2	70.0	無答(39.0)、内根(6.0)、頭根(3.5)、くぼみ(1.5)、みね(1.5)、根(1.0)
6	(2)	43.6	60.0	無答(20.0)、津軽海峡(16.5)、海峡(3.5)、津軽(3.5)、海底(2.5)、せんがん(1.5)、青森(1.0)
7	(2)	29.1	60.0	ウ・エ(19.5)、ア・ウ(13.5)、ウ・オ(6.5)、イ・エ(6.0)、イ・ウ(3.0)、オ・ウ(3.0)
8	(1)	33.9	70.0	おけ・せんたく板(15.0)、たる・せんたく板(9.0)、無答(5.5)、おけ・いた(5.0)、たらい・いた(3.5)
9	(1)①	51.1	70.0	オ(17.0)、ア(8.5)、ク(5.5)、エ(5.0)、キ(4.0)、無答(3.5)、ウ(3.0)、カ(1.5)
9	(1)②	43.7	70.0	キ(11.0)、エ(9.5)、カ(8.0)、ウ(5.5)、無答(4.5)、イ(3.0)、オ(2.5)、ア(1.0)

- 5(2)について

誤答の原因として、通過率が低く、「無答」が多かったことから、地図上で等高線が内側に入り込んだ地形が「谷」を表すという知識理解が不十分であることが考えられる。

- 6(2)について

誤答の原因として、「無答」が多かったことから、地図上において青函トンネルの名称と位置の理解が不十分であることが考えられる。

- 7(2)について

誤答の原因として、1問目の「ア」ができていない誤答が多かったことから、県内の代表的な山(岩木山、八甲田山)の名称と位置の理解が不十分であることが考えられる。

- 8(1)について

アの「たらい」の誤答として「おけ、たる等」が多かったことから、昔の道具の理解が不十分であることが考えられる。

- 9(1)①について

誤答の原因として、「オ 水の管理」の誤答が多かったことから、ビニールハウスで育苗することの理解が不十分であることが考えられる。

- 9(1)②について

誤答の原因として、「エ 田植え」や「キ 農薬をまく」の誤答が多かったことから、農業機械についての理解が不十分であることが考えられる。

## カ 今後の指導について

内容・領域別にみた課題としては、「食料生産」の学習内容の定着が挙げられる。ここで具体的に調べる対象は、以下の3つである。

「小学校学習指導要領解説 社会編 第5学年 内容(2)」では、  
ア 様々な食料生産が国民の食生活を支えていること、食料の中には外国から輸入しているも

のがあること。

イ 我が国の主な食料生産物の分布や土地利用の特色など

ウ 食料生産に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸などの働き

これらのことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、我が国の食料生産が国民の食生活を支えていることや自然環境とのかかわりについて考える学習活動を展開することが大切である。今後の指導においては、次のような指導の工夫が望まれる。

### 指導例 第5学年「米づくりのさかんな地域」の指導

#### 1 食育と関連させた導入と地図帳、地球儀の活用

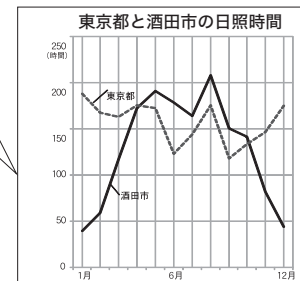
家庭の食事や給食の献立調べを通して、自分たちが様々な食材を食べていることに気づかせる。そして、これらの食材が、「どこで作られ、どのように運ばれてきたのか」という問題意識をもたせる。袋のパッケージ等から食材の産地名を調べるだけでなく、地図帳や地球儀を活用し、生産地と消費地を結ぶ交通網や位置関係を確かめる活動をさせる。

#### 2 稲がよく育つ条件の確認

他地域のデータを重ねてかいた日照時間や降水量の折れ線グラフを調べる時、折れ線が交差していることから読み間違いが生じやすい。折れ線の種類を確認させるとともに、指でなぞらせることによって、他地域との違いを確実に読み取らせる。そこから、稲がよく育つ条件について考えさせることが重要である。そして、農家の人の話等の文章資料を関連させて調べることによって、気候の特色を生かして米づくりをしている農家の人々の工夫や努力に気付かせる。地形の特色も同様に、地図から読み取ったことから、稲がよく育つ条件について考えさせる。

##### ①他地域との違いを読み取る

・東京都と比べて、酒田市の方が夏の日照時間が長いね。



##### ②稲がよく育つ条件について考える

・夏の日照時間が長いと、稲がよく育つのではないかな？

##### ③文章資料で確かめる

・「農家の人の話」を調べてみよう！



**稲かり**  
稲のほが出そろってから40～50日たったころ、ほが黄金色に実るとコンバインでかり取ります。

#### 農作業暦

9月	稲かり だっこく かんそう もみすり
----	-----------------------------

#### 3 農作業暦に写真を対応させ、説明文を考える学習

「代かき」や「稲かり」などの作業内容をイメージできない児童もいる。そこで、米づくりの1年間を調べる学習で、農作業暦と写真を対応させ、説明文をつける活動を取り入れる。使っている道具や稲の生育状況を具体的に調べ、文章化することを通して、1年間の農作業についての理解を深めさせる。

評価の観点別にみた課題としては、「社会的事象についての知識・理解」の向上が挙げられる。その要因として、地理的名称や特色ある産業等の社会的事象に関する知識が十分に身に付いていないことが考えられる。

今後の「社会的事象についての知識・理解」の指導においては、指導のねらいに応じ、「習得させる内容」と「活用させる内容」を整理した上で、問題解決的な学習として展開していく必要がある。さらに、基本的な用語については、時間の経過とともにあいまいになったり忘れら

れたりすることが多いので、繰り返し指導していくことも必要である。

**指導例** 第4学年「わたしたちの県」の小単元「地図帳を広げて」指導計画例

主な発問・指示と学習活動	資料等	指導のポイント	時間
○青森県の形は、どのような形に見えるでしょう。 ・東北地方の地図を用意し、青森県の形を切り抜いて、いろいろな方向から見つめる。 ・どんな形に見えるか気付いたことを紹介し合う。	・東北地方の白地図	・白地図をいろいろな方向から見つめ、どんな形に見えるか想像し、県の形のアウトラインをつかむ。	1
○青森県のほかに、どのような県（都、道、府）があるでしょう。 ・自分の知っている都道府県を発表する。 ・知っている都道府県の位置を日本地図で確認する。	・日本地図	<習得>八方位による位置関係の表し方が分かる。 <活用>八方位を用いて、自分の県との位置関係を言い表す。	1
<b>学習問題</b> 日本には、どこにどのような都道府県があるのでしょうか。			
○地図帳を用いて、白地図に47の都道府県名をかき表しましょう。 ・地図帳の構成や使い方を確認する。 ・我が国の構成に気付く。 ・自分の県の位置を指摘する。 ・47の都道府県名を白地図にかき表す。 ○青森県は、日本全体から見てどこにあるでしょう。	・日本の白地図 ・日本地図（掲示用）	<習得>地図帳の構成や索引による地名の位置の調べ方が分かる。 <習得>北海道、本州、四国、九州や沖縄などの島々、47都道府県の名称と位置が分かる。 <活用>自分の住んでいる県の位置を都道府県名を使って言い表す。	1
○先生が配布した都道府県（パズル）の名称や位置を調べましょう。 ・名称や位置を調べる。 ○みんなに出すクイズをつくりましょう。 ・「山」「川」「島」などが名前に使われている都道府県、海に面している都道府県、面積が広い都道府県等。	・日本地図のパズル（同縮尺のもの）	<習得>日本の地図を見て、47都道府県の名称と位置を指摘できる。	1

なお、「47都道府県の名称と位置」については、各学年で教科書などに都道府県名が登場した場合は、その都度地図帳などを活用して日本地図上で確認するなどの活動を継続し、小学校修了までには確実に身に付け、使いこなせるようにする必要がある。

設定通過率との比較からみた課題としては、「社会的事象についての知識・理解」の向上が挙げられる。「地域の様子・青森県の特徴」において、青森県の主な交通網の広がり、地図の基本的な読み取りが、設定通過率を大きく下回っている。資料の活用をより一層図り、作業的な活動を工夫することで、知識・理解の定着と主体的に学習に取り組む意欲向上を図る指導を工夫することが大切である。

今後の指導の改善の具体策を考える上で、今一度学習指導要領における記述を確認しておくことにする。

「小学校学習指導要領解説 社会編 第4章 指導計画の作成と内容の取扱い」では、「地図帳については、日常の指導の中で、折りにふれて、地図の見方や地図帳の索引の引き方、統計資料などの活用の仕方などについて指導し、地図帳を自由自在に活用できる知識や能力を身に付けるようにすることが大切である。」となっている。

上記のことを受けて、今後の学習指導においては、次のような点に留意した指導の工夫が望まれる。

### 指導例 地図帳や地球儀を活用する指導

#### 1 地図帳の特徴 地図帳は「基本図」と「主題図」に分けることができる。

(1) 基本図 日本全図、世界全図または、日本や世界の一部の地図など。  
学区を示す地図の多くは、多目的に作成され、基本図となっている。



(2) 主題図 土地利用図、人口分布図、気候図など。  
テーマ性や目的に即して作成されている地図。教科書の多くは主題図である。

#### 2 地図帳でおさえたいこと

- (1) 縮尺 1/25,000の地図では、4 cmが1 kmとなること。縮尺の意味については地図やものさしなどを用いて具体的に指導しておく。
- (2) 方位 第3学年では四方位「東西南北」を活用できるようにする。具体的な指導としては、身体を使って四方位を示せるようにし、順次八方位を活用できるようにする。
- (3) 地図記号 第3学年の絵地図に「地図記号」を付け足すなどして、地図記号を使うと便利であるという感覚を身に付けさせる。

#### 3 地球儀の活用について

地球儀を身近で使えるよう、各教室に1個置くだけで発見が広がる。活用する上で、身に付けさせておきたい技能は、「経度」と「緯度」の読み取りである。



#### 4 教室環境の工夫について

- (1) 教室や廊下、空きスペースに地図を掲示し、目に触れる機会を確保する。学年に応じて、学区、地域、県、地方、日本全図、世界全図を掲示する。
- (2) 地図帳は、地名の位置を確認することができるだけでなく、社会的事象の様子や関係、自然環境とのかかわりなどを調べることもできる。教師は、地域の周辺情報を提供するなど、生活との結び付きを児童に意識させる必要がある。
- (3) 方位、距離感を養うために第3学年においては、教室に東西南北の方位を表示する。

### キ まとめ

内容・領域別では、「人々の安全」の定着が概ね良好である。一方、「地域の様子」・「青森県の特徴」の定着に不十分な点が認められる。また、評価の観点別では、「社会的事象についての知識・理解」の定着に不十分な点が認められる。

今後は、児童の問いを重視し、児童が自ら資料を選び、調べていけるような問題解決的な学習を充実させる必要がある。その際、地図や統計資料などの基礎的資料を効果的に活用させる授業展開をするとともに、複数の資料を関連付けて考えさせるなど、発達の段階に応じた指導が必要である。また、学習のまとめの段階では、調べたことをもとに社会的事象の意味等について考えを出し合うことで、より確かな理解が生まれ、社会的事象への関心が高まる。